

管轄地域概況調査

管内人口

市町村	R2	R1	H30	H29	H28	H27
富田林市	110698 (-930)	111628 (-966)	112594 (-1115)	113709 (-937)	114646 (-955)	115601
太子町	13188 (-88)	13276 (-144)	13390 (-117)	13507 (-168)	13675 (-73)	13748
河南町	15346 (-165)	15511 (-124)	15635 (-94)	15729 (-81)	15810 (-47)	15857
千早赤阪村	4839 (-539)					5378

各市町村 HP・RESAS 等より作成

主要駅の1日当たりの乗降者数 (R2,R1 は概算)

駅名	R2	R1	H30
喜志駅	12,710 (-33.8%)	19211 (+11.5%)	17226
富田林駅	10939 (-22.2%)	14069 (+3.6%)	13577
上ノ太子駅	3775 (-20.5%)	4749 (+4.8%)	4528

近畿日本鉄道 HP 駅別乗降人員及び聞き取り調査より作成

年間の観光施設利用者数

施設名	R2	R1	増減
きらめきファクトリー	16101	26077	-9976 (-38.2%)
サバーファーム	40450	57429	-16979 (-29.5%)
サバーファーム (市場)	98943	86265	12678 (+14.7%)
太子町道の駅 (レジ通過者数)	52834	55003	-2169 (-4%)
河南町道の駅 (レジ通過者数)	238653	225481	13172 (+5.8%)
千早赤阪村道の駅 (レジ通過者数)	36722	26664	10058 (+37.7%)

各市町村等から聞き取り調査及び事務事業評価より作成

管轄地域の人口は、他の地方ベッドタウンと同じく少子高齢化の影響による人口減少が続いている。

管轄地域の人流は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や、在宅勤務の推奨により減少している。主要駅の乗降者数は富田林駅が-22.2%、上ノ太子駅は-20.5%となっているが、これは近畿日本鉄道の定期客数が約 18%減少していることからほぼ平均的な減少であると考えられる。喜志駅の-33.8%は他の2駅と比べて大きいですが、これは喜志駅に学校等への直通バスのバス停が集中しているため、新型コロナウイルス感染症による休校が影響していると考えられる。

管轄地域の観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、周遊の拠点や周遊をメインとした観光施設の利用者数は減少しているが、物産部分については利用者が増加している。これはコロナ禍での外出自粛に伴い、家庭内で消費する食品・物品・サービス等への支出が増加していることと、元々の健康志向による需要の拡大の影響であると考えられる。また、コロナ禍においては、人混みを避けられる中山間部への関心が高まっていることも一因であると考えられる。